

第1回九州脊梁山脈トレイルラン

三重野 利広

みなさんの参考になれば・・・

昨年(2017年)の十月十二日、九州の中心に位置する、熊本県山都町にてトレイルランが開催されるという話を聞きました。関東や他の大都市圏ではメジャーになりつつあるトレイルランについてかは出てみたいと思っていましたので、すぐに応募をしました。「アウトドア峯夢」に6月に事前予約をおこない、8月に手続きの資料が届きました。

今回が初めての開催のため、何かにおいて手間取っているということ。それでも、ぜひ、おいで下さいという気持ちが伝わってくるわび状が入っていました。この大会は前日受付のみになります。当初はそういう話ではなかったのですが、あわてて勤務表とにらめっこした次第です。

前日の2時に受け付け地点に到着。橋の上から放水をすることで有名な、「通潤橋」の近くになります。受付を済ませると、歓迎レセプションの前に3時から。ランナーのために放水をしてくれるということ。早速、見学をしてきました。

5時からレースの説明会が始まりました。今回、前日受付のみにしたのは、映像で危険箇所を説明するためだったそうです。丁寧に15分ほどかけて、スクリーンを使い説明をしてくれました。今年も前日受付のみだそうですね。その後は知人ぞ知る、ゲストランナーの福田六花氏のミニコンサート、地元のお母さん達のフラダンスショー、豪華景品の抽選会、ささやかな飲み会の後、散会となりました。翌日は、そこから車で30分以上離れた、清流館からのスタートとなりますが、辺鄙な場所で、駐車場もないため自家用車は当日乗り入れができません。そのため送迎バスで向かう事となっています。集合場所に車中泊のスペースが十分に確保されており、水道、トイレ等も問題ありません。5時にはナイター照明で起こしてくれるので寝過ぎず心配も無しです。夜は久しぶりに満天の星を眺めました。

早朝5時45分にバスに乗り込み、6時15分に到着。旧小学校だと思えます。体育館で着替えを済ませると、7時から小学生の和太鼓が始まりました。こちらが恐縮してしまいました。約210名の参加者。さすがにみなさん準備は万端に整えていました。バックパックは必需品です。僕はランシューズでしたが、トレイル用が95%以上でした。レース後に思ったのですが、靴につける、小石よけのカバーがありますよね、それはあった方がいいと思いました。朝は少し寒かったので、ほとんどの人が機能性タイツに長袖シャツです。日中の気温は25度の予想でしたので僕は、半袖、半パンにしました。後にその選択は間違っていないことに安堵しました。ただし、怪我防止のためには、タイツがいいかもしれません。

そして8時にスタート、35kmの行程の始まりです。様子見のため最後尾の位置につけます。まずは、ゆるいアスファルトの坂道を4kmほど登り小川岳登山道に入ります。そこから一気に1000mを駆け上がります。鶴見岳一気登山をイメージしてもらえればいいと思います。その後は、アップダウンを繰り返し、快適に気持ち良く14km地点のエイドに到着です。そこは「五ヶ瀬スキー場」のグレンデの中腹になります。名水と果物をいただき、先に進みます。ところが、ここからグレンデの頂上までの約200mは30度の斜度だということで、足を進めることが出来なくなってしまいました。なんとか登り切ったと思ったら、今度は階段が続きます。約100段くらいはあったと思います。そこで僕の足は完全に終わってしまいました。終焉です。

そこから22km地点の三方山山頂まで、登り調子のアップダウンが続きます。下りはかなりのスピードで降りることができるのですが、登りは完全に死んでいました。三方山を過

ぎると、今度は待ちに待った下り基調に変わります。約5 kmほどなだらかな、山道を下っていきます。ところでこのレースでとても感心したところがあります。それはどんな山の中でも、ボランティアの方が道を間違えないに立ってくれたことです。なんでこんな場所にいるの？と思いたくなるようなところにも、配置されていました。それも年配の方が多く、どうやってこんな山中に登ってきたのかおもわず、聞いてみようかなと思ったくらいでした。

コースは聞いていたのですが、ほんとに手つかずの自然のコースです。朽ちて倒れた大木をとび越え、斜めに倒れかかった大木の下の間隙をくぐり抜けます。大木が倒れ、直径数メートルもある根っこの部分がむき出しになっている横を走り抜けます。杉林のふかふかした地面を走ります。倒木を飛び越える時に5センチくらいの厚みに成長したコケに手をかけました。暖かくふかふかで何故か感動してしまいました。このコースは10年かけて手作業で切り開いて作成したと聞きました。ほんとに感謝です。

そして2箇所目のエイド。27 km地点で水を補給しラスト8 kmの下りに挑みます。延々と続く土の車道になっており、小石がなんども靴に入ってきたポイントです。ブレーキをかけながら下り続けやっとゴールが見えてきました。番号と名前がコールされます。ゴール、初めてのトレイルが終わりました。とても楽しくあっという間の5時間30分でした。順位は87位でした。ゴール地点でお弁当やしし鍋を食べ、和太鼓や、カントリーダンスショーなどがあり、帰りの駐車場では、何人ものスタッフが笑顔で見送ってくれました。

数々のレースに出場してきましたが、これほどのおもてなしは初めてでした。感謝です。体を酷使する大会ですが、爽快感はかなり期待できます。私は、今年は残念ながら参加できませんが、出場されるは、是非大自然とおもてなしを堪能して下さい。

この文が参考になれば幸いです。